

貴社の中で興味のある方にもお渡しいただければ幸いです。

第51回

日本で唯一、アメリカ西海岸と東海岸を横断して多様化したSCと業態を一挙に視察

アメリカの流通・SCの研究視察ツアーのご案内

3都市・10日間・40ヶ所視察
(西海岸と東海岸) (十分なる期間) (あらゆるSC・業態)

過去50回で延べ約1,302名が参加！
SCや業態を全体的かつ一挙に理解するための視察として最も評判の高い研究視察

ロサンゼルス

- ・多様なSC業態の激戦地
- ・SCリニューアル事例の宝庫
- ・次世代型SCの実験場

ラスベガス

- ・エンターテインメント型SCの最適立地
- ・観光客対応を取り入れた様々なSC業態
- ・テーマセンター型SCの宝庫

ニューヨーク

- ・モダン及びニューモダン志向の最強都市
- ・日本の将来の都心商業が見える
- ・あらゆる業態が都心と郊外に立地

訪問都市：ロサンゼルス、ラスベガス、ニューヨーク

研修期間：2019年10月16日(水)～10月25日(金) [10日間]

募集人員：30名 <最少催行人員20名>

研修代金：720,000円 (ホテル1室2名利用・成田基点)

※国際線往復 日本航空利用

(燃油サーチャージ・成田空港施設使用料・現地空港税・国際観光旅客税等は別途必要となります。)

毎回定員オーバーとなりますのでお申し込みは早め
にお願い致します。

お申込み締切は**8月30日**

「企業単位予約枠(人数)」
での受付もしております。

旅行主催者：株式会社近畿日本ツーリスト関西

視察・研究企画

DYNAMIC MARKETING Co. Ltd. Since1977

株式会社ダイナミックマーケティング社⁺7

The Think Tank and Strategic Consulting Company For the Commercial Distribution Industry

多様なSC・業態を40ヶ所以上視察（アメリカでの視察滞在8日間）

ロサンゼルス（3泊4日）
※夜の自由視察3ナイト

ラスベガス（2泊1日）
※夜の自由視察2ナイト

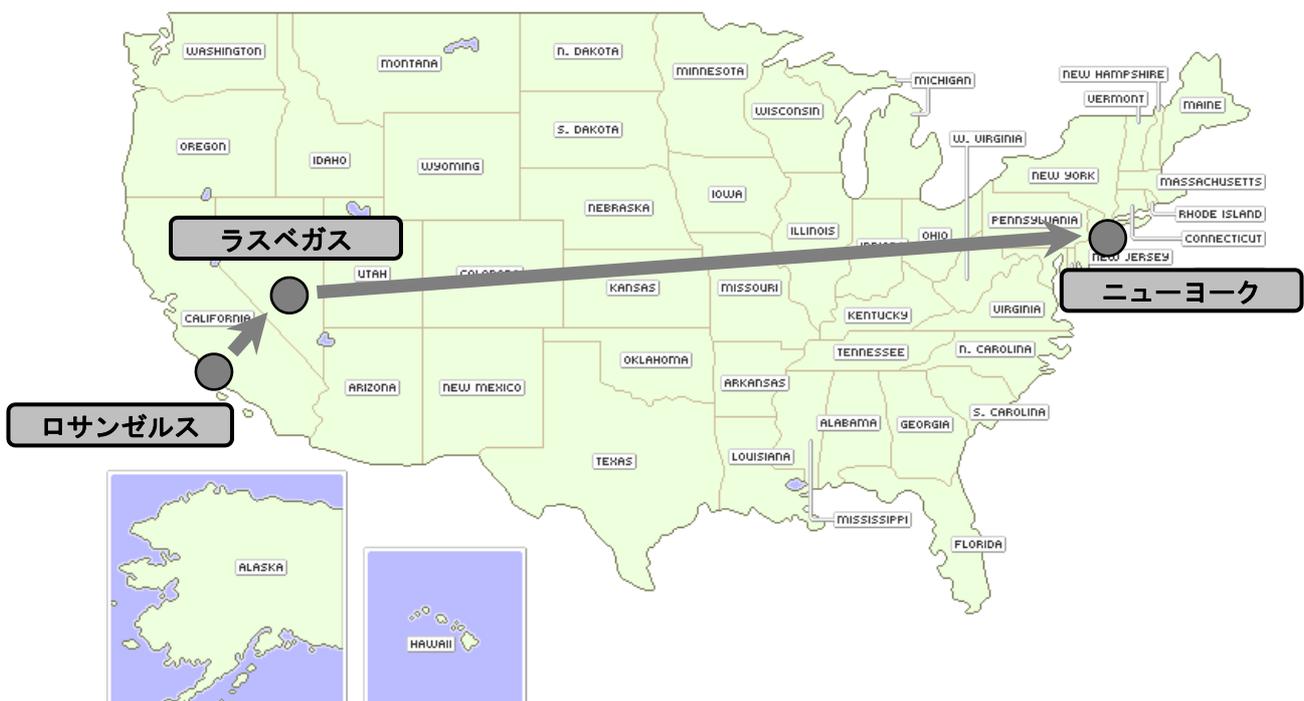
ニューヨーク（3泊3日）
※夜の自由視察3ナイト

基礎SC	サウスコーストプラザ	世界一の強さを誇る物販力が強力なSC	バリュー志向のSC	バーゲン・タウンセンター	百貨店の廉価版とアウトレットストアが一体化したSC
	ウエストフィールド・トパンガ&ザ・ヴィレッジ	エンクローズドモールとライフスタイルセンターが一体化したハイブリットモールのSC		ウッドベリー・コモン・プレミアム・アウトレット	多様なブランドを抱える世界一のアウトレットセンター
	ファッション・アイランド	リニューアルを繰り返し、課題SCから繁盛型SCへ脱皮したSC		ジャージー・ガーデンズ	都市近郊で1,000億円の売上を誇るバリューセンター
リニューアルにより強化されたSC	ウエストフィールド・センチュリーシティ	リニューアルで画期的・次世代型に変身したSC	都市型SC	プレミアム・アウトレット・アット・ラスベガス	ラスベガスの中心部に近い立地のアウトレットセンター
	サンタモニカ・プレイス	ハード・ソフトの両面で失敗したSC		オンタリオ・ミルズ	エンターテインメントと廉価性が一体化したバリューセンター
	ウエストサイド・パビリオン	ノードストロームが退店して廃モール化したSC		ウエストフィールド・ワールド・トレード・センター	グランド・ゼロの跡地に開発された巨大空間のSC
課題のあるSC・廃モールのSC	グランデール・ギャラリー	廃モール寸前で隣接したアメリカナと一体化して活性化	食文化系の業態	ショップス・アット・コロンバスサークル	タイムワナー付属のホールフーズを旗艦店舗とする都市型SC
	ザ・ラボ&ザ・キャンプ	ノスタルジーとロハスの異色のアンチモールのSC		シティ・センター	ラスベガスのカジノ、ホテル、住宅機能が一体化した商業施設
アンチモールのSC	アナハイム・パッキングハウス	歴史的建造物をテーマパーク化したアンチモールのSC	ライフスタイルセンター	ブルックスフィールド・プレイス	バッテリーパーク地区の再開発のフードホールが強力なSC
	サードストリート・プロムナード	SCに勝った唯一の商店街		ザ・ショップス・アット・ハドソンヤード	マンハッタンの中ミッドタウンに開発されたまちづくり型のラグジュアリーSC
まちづくり型のSC・街区	ヴィクトリア・ガーデンズ	市(行政)の中心となる2つの性格のストリートを持つまちづくり型SC	有力業態	イータリー	イタリア料理の食文化の超繁盛グローバルの店
	ソーホー(SOHO)	倉庫街をアーティストが開拓したノスタルジーの超繁盛ストリート		チェルシー・マーケット	ノスタルジーのイメージで人気スポットの製造小売の観光市場
	五番街・マディソン街	世界一のブランド・有カチェーン店の旗艦店のストリート		ホールフーズ&365バイ・ホールフーズマーケット	健康とグルメを一体化して中商圏でも成立するオーガニックの店
	フォーラムショップ	全米一の売場面積の観光型SC(ラスベガスの名所)		トレーダー・ジョーズ	教育水準の高いが低所得層の客を対象とした超繁盛のグルメSM
エンターテインメント型SC	アーバイン・スペクトラム・センター	エンターテインメントからRSCに拡大変身したSC	有力業態	グランド・セントラル・マーケット	歴史的建物を活用した都市立地のフードホール
	ザ・グローブ アットファーマーズマーケット	カリフォルニアで一番の集客力があるストリート型ライフスタイルセンター		ザ・ポイント	有カレストランと広場が一体化したサードプレイスのライフスタイルセンター
	ジ・アメリカナ・アット・ブランド	住宅とストリートが一体化したおしゃれなストリート		パリセイズ・ヴィレッジ	中高級住宅街に溶け込んだ地域密着ライフスタイルセンター
	ファッションショー・モール	ラスベガスでブランドショップが勢揃いしている超高級SC		ウォルマート・スーパーセンター	世界一強力な廉価性を持った総合業態
	アメリカンドリーム・メドウランド	室内スキー場を備えたテーマパーク型の巨大エンターテインメントセンター		ノードストローム	アメリカで一番人気の良い専門店志向の百貨店
					バスプロショップス(アウトドアの巨大スポーツメガスストア)
			チーズケーキファクトリー(餅志向のファミリーレストラン)		
			アップルニューヨーク旗艦店(ショールーム型のメガスストア)		
			ユニクロ旗艦店(五番街・ソーホー)		
			アマゾンブックス&アマゾンゴー(アマゾンの実店舗)		
			チコーズ(シニア向けアパレル)		
			コールズ(小商圏型のカジュアル百貨店)		
			センチュリー21(百貨店のオフプライスストア)		

コーディネーターのプロフィール

<p>むぐるま ひでゆき 六車 秀之</p>	<p>株式会社ダイナミックマーケティング社 代表 SC及び流通業のマーケットリサーチ、企画、コンサルティング歴40年。ディベロッパーサイドからのSC開発・リニューアル業務を中心に手がけています。SCは開発からの指導が多い中であって、早くから長期繁栄のための運営のあり方を訴え続けております。またSCの長期繁栄のための原理・原則を着々と確立し、理論とノウハウに基づく指導を掲げ、志を燃やしております。</p> <p><著書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルセンターの成功のメカニズムと事例研究(ダイナミックライブラリー) ・ショッピングセンター開発・リニューアル・運営のノウハウ集(ダイナミックライブラリー) ・ライフスタイルセンターの構築(同文館出版) ・次世代ショッピングセンター<共著>(中央経済社出版) ・次世代サプライチェーン<共著>(中央経済社出版) ・One Hour Know-how 1時間で理解できる濃縮ノウハウ集 vol.1～vol.16 (ダイナミックライブラリー) ・ショッピングセンター理論(ダイナミックライブラリー)
<p>Cho Suzumura (鈴木 長革)</p>	<p>GWest Architecture, LLC Director-Design Principal ・アメリカのデザイン会社 ・アメリカ ワシントン州シアトル市</p>
<p>使用及び 提供教材</p>	<p>①アメリカの流通・SC視察・研修テキスト (A4サイズ約400ページ) ②One Hour Know-how「成果のメカニズム」 (A4サイズ53ページ) ③ショッピングセンター理論 (A4サイズ273ページ)</p>

訪問都市



研究視察のスケジュールと内容

基本日程

※アメリカSCの最新動向を加味して、視察先を調整中のため視察先及び航空便を変更する場合があります。

日次	日付	滞在都市名	発着時間	交通機関	研究視察内容
1 日 目	10月16日 (水)	<各地から成田> <全員出発> 成田空港出発			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 成田空港にて ※旅行説明会を含む 第1回研修会 10:30~12:00 第2回研修会 13:00~14:30 </div>
		ロサンゼルス	ロサンゼルス着 (午前)	日本航空	
2 日 目	10月17日 (木)	ロサンゼルス	ホテル出発 (09:45)	専用バスで視察 (終日視察)	<p>(第3回研修会 8:00~9:30)</p> <p>■ロサンゼルス都市圏を視察</p> <p>① サンタモニカ・プレイス ・業態:SRSC ・2010年にエンクローズドモールからオープンモールへ建替リニューアルを図る。3階の食物販・飲食ゾーンが不調により模索中。サードストリート・プロムナードの拠点となる。</p> <p>② サードストリート・プロムナード ・SCと一体化することにより再生した稀有な商店街。SCを集客核として再生したが、最後はSCに打ち勝ってSCを苦戦させている商店街</p> <p>③ ザ・グローブ ・業態:RSC型ライフスタイルセンター(オープン) ・ノードストローム百貨店を核店舗とする大型ライフスタイルセンター。1920年代のダウントウンをイメージするデザインを取り入れる。専門店の西海岸での新業態進出の拠点となる。</p> <p>④ ジ・アメリカーナ・アット・ブランド ・業態:タウンセンター型ライフスタイルセンター ・ザ・グローブと同様のカラーソー社が開発する商業・住宅の複合開発。2013年秋にノードストローム百貨店が開業し、物販力の強化を図る。</p> <p>⑤ グレンデール・ギャラリア ・業態:RSC ・デッドモール化ししつつあったSCが、隣接するジ・アメリカーナ・アット・ブランドと一体化することにより再生したRSC。</p> <p>⑥ ザ・ポイント ・業態:ライフスタイルセンター ・2015年7月開業のライフスタイルセンター。テーマセンター志向で、飲食を中心に店舗構成。</p> <p>⑦ ウエストサイド・パビリオン ・業態:デッドモール化したRSC ・ノードストロームが退店(近くのセンチュリーシティへ移転)して、デッドモール化している過渡期業態の2核1モール型RSC。</p>

日次	日付	滞在都市名	発着時間	交通機関	研究視察内容
5 日 目	10月20日 (日)	ラスベガス (ラスベガス泊)	ホテル帰着 (18:30)	専用バスで 視察 (終日視察)	<p align="center">(第6回研修会 8:00~9:30)</p> <p>■ラスベガス都市圏を視察</p> <p>①フォーラム・ショpps ・業態:スペシャリティーセンター(エンクローズド) ・シーザーパレスホテル付帯のSC。全米最大級の売上を誇る。</p> <p>②ファッション・ショー・モール ・業態:SRSC(エンクローズド) ・8核2層の巨大モール。百貨店後にフォーエバー21が入居。定期的にファッションショーを行う</p> <p>③プレミアム・アウトレット・ラスベガス ・業態:アウトレットセンター(オープン) ・チェルシー社開発のアウトレットセンター。ラスベガス観光客の誘致も図る</p> <p>④シティ・センター ・業態:複合開発 ・8,000億円規模の巨大プロジェクト。ホテル、住居、カジノ、劇場、コンベンション施設、商業施設により構成</p> <p>⑤夜はラスベガス自由視察</p>
6 日 目	10月21日 (月)	ラスベガス～ ニューヨーク (ニューヨーク泊)	ラスベガス発(午前) NY着(午後) ホテル帰着 (18:30)	UA航空 (予定) 到着後、 専用バスで 視察 (着後視察)	<p>■ニューヨークまで移動。着後視察</p> <p>①ジャージー・ガーデンズ ・業態:バリューセンター(エンクローズド) ・アウトレットストアとディスカウントストアの混成するSC業態。2層エンクローズドのレーストラック型レイアウトにより回遊性を高める。2013年にリニューアルを実施。</p> <p>②ショpps・アット・コロンバスサークル ・業態:スペシャリティーセンター ・タイムワーナーセンター付帯の低層階の商業部分。地階にはホールフーズのニューヨーク旗艦店舗が入居する。4階にはスーパーシェフのレストランが集積する。</p> <p>③ホールフーズ・マーケット ・業態:オーガニックSSM ・ナチュラル、オーガニック食品を中心に販売するSSM。米国、カナダ、英国で展開し、現在は「オーガニック」から「健康を売るスーパー」への戦略転換を図る。</p> <p>④夜はニューヨーク自由視察</p>

日次	日付	滞在都市名	発着時間	交通機関	研究視察内容
7 日 目	10月22日 (火)	ニューヨーク (ニューヨーク泊)	ホテル出発 (09:45) ホテル帰着 (15:00)	専用バスで 視察 (終日視察)	<p align="center">(第7回研修会 8:00~9:30)</p> <p>■マンハッタン内を視察</p> <p>①チェルシーマーケット <ul style="list-style-type: none"> ・業態:スペシャリティセンター ・製造型食品テナントが入居し、上層部はオフィス。ミートパッキング・ディストリクトなどもあわせて視察。 </p> <p>②イーターリー <ul style="list-style-type: none"> ・業態:グルメSM+レストラン ・イタリア食材とイタリアンレストランを4,500㎡の売場に集積させる大型店。 </p> <p>③ウエストフィールド・ワールド・トレードセンター <ul style="list-style-type: none"> ・業態:スペシャリティセンター ・2016年8月オープン。グラウンドゼロの再開発に伴う商業開発。100店舗の専門店で構成。 ・イーターリーのマンハッタン2号店が入居する。 </p> <p>④ブルックフィールド・プレイス <ul style="list-style-type: none"> ・業態:RSC ・バッテリーパーク地区の再開発とともに開業。2014年に複合施設として再開する。 ・フレンチグルメのフードホールと15店舗が集うフードホールが都心立地にマッチする。 </p> <p>⑤ニューヨーク自由視察(15:00~夜) <ul style="list-style-type: none"> ・5番街、マディソン街(アップル世界旗艦店、有力ブランドの旗艦店、ユニクロ等)。 ・タイムズスクエア周辺の旗艦店、メイシーズ本店、ブルーミングデールズ本店等。 </p>
8 日 目	10月23日 (水)	ニューヨーク (ニューヨーク泊)	ホテル出発 (09:45) 夕食後 ホテル帰着 (21:00)	専用バスで 視察 (終日視察)	<p align="center">(第8回研修会 8:00~9:30)</p> <p>■ニューヨーク郊外を視察</p> <p>①ザ・ショップス・アット・ハドソンヤード <ul style="list-style-type: none"> ・マンハッタンのミッドタウンに開発されたラグジュアリーSC。 ・再開発のまちづくり型の複合開発(三井不動産参画)の一角。 </p> <p>②アメリカンドリーム・メドウランド <ul style="list-style-type: none"> ・トリプルファイブがエドモントン・モールとモール・オブ・アメリカに次いで開発した巨大なエンターテインメントモール。 ・室内スキー場や各種エンターテインメント施設が導入されたテーマパーク型のSC。 </p> <p>③スチュレオナルズ <ul style="list-style-type: none"> ・業態:広域製造型スーパーマーケット ・アイテムを絞り込み、ほぼ100%PBにより構成される製造型スーパーマーケット。 </p> <p>④ウッドベリー・コモン・プレミアムアウトレット <ul style="list-style-type: none"> ・業態:アウトレットセンター(オープン) ・全米最大のアウトレットセンター。アウトレットセンターの代名詞となる旧チェルシー社の代表的なSC。 </p> <p>⑤バーゲン・タウンセンター <ul style="list-style-type: none"> ・業態:バリューRSC(エンクローズド) ・百貨店のアウトレットやディスカウントストアから構成されるSC。オーガニックSMのホールフーズも入居。 <p align="center">(全員で夕食をとります)</p> </p>
9 日 目	10月24日 (木)	ニューヨーク	ニューヨーク発 (午後)	日本航空	(機 中 泊)
10 日 目	10月25日 (金)	成 田	成田着 (午後)		成田空港着後、解散

研究視察の趣旨

テーマ	視察・研究の内容
<p>第一のテーマ</p> <p>経済の変化に常に対応して発展しているアメリカの流通業の底力の研究</p>	<p>アメリカの流通業は、過去3回の不況期に新たな時代の変化に対応し、不況を逆利用して発展しました。1980年代の不況期には<u>バリュー業態</u>(アウトレットセンターやディスカウントセンター、バリューセンター等)が出現し、アメリカの流通の底力を見せました。1990年代のITによる好景気期には、シネコンやレストラン、アミューズメントの<u>エンターテインメント</u>を導入したSCが発展しました。2000年代のITバブル崩壊後には、居心地感のある第三の場を核要素とする<u>ライフスタイルセンター</u>が発展しました。</p> <p>アメリカは経済の変化が起こると、常に流通を変革させ、逆に新たな業態が出現しています。今、アメリカは経済の成長と停滞という二極化の中で各流通業は互いに創意工夫し、生き残り勝ち残りをかけて進化しています。</p>
<p>第二のテーマ</p> <p>多様な業態の成立のメカニズムの視察・研究</p>	<p>アメリカにはSCが46,000ヶ所立地(コンビニエンスセンターを含めると11万ヶ所以上)しています。日本の3,200ヶ所と比較して著しく激しい競争がSC相互間及び業態相互間でなされています。そして、競争の激しさが棲み分け手法や業態の多様化へと進み、各業態が互いに得意分野を発揮して成立しています。この棲み分けは30年前からアメリカで現実化しています。</p> <p><u>棲み分けの理論と業態成立のメカニズム</u>がどのようになっているのかを解説します。このアメリカの棲み分けの考え方の中には、日本のSC飽和時代の勝ち残りノウハウの宝の山が存在します。</p>
<p>第三のテーマ</p> <p>ニューモダン消費に対応した新業態の視察・研究</p>	<p>アメリカや日本では、モダン消費である買物の学習経験の連続性が終焉し(モノを買い、消費し、所有し、使用することに喜びを感じなくなった時代)、<u>モノ離れ(タンスの中は一杯状態)の中で購買意欲の高い商品・サービスやライフスタイルを追求するポストモダン・ニューモダン消費への対応型業態</u>が出現しています。そこから、日本の今後の消費意欲を高めるためのポイントを解説します。</p>
<p>第四のテーマ</p> <p>アメリカの専門店のトレンドの視察・研究</p>	<p>アメリカの専門店業態はSCと共に成長してきました。日本では第2世代の専門店チェーンの時代ですが、アメリカでは第3世代の専門店チェーンが続出しています。例えば、アメリカでは熟年マーケットの専門店チェーンが出現し、団塊世代の人気を得ています。しかし、日本ではシニアマーケットの専門店には必ずしもうまくいきません。そこで、日本とアメリカの専門店を比較分析し、<u>アメリカでの専門店の展開パターンと成立メカニズム</u>の素晴らしさを解説します。</p>
<p>第五のテーマ</p> <p>デッドモール化の実態とネット通販に対応した次世代型SCの視察・研究</p>	<p>アメリカのRSCにおいて、経年劣化及びネット通販により過渡期業態化(時代対応できていない業態)したSCは淘汰または長期低落化しています。この流通先進国における<u>デッドモール化のメカニズム</u>ならびにネット時代に対応した次世代型SCについて解説します。</p>

ダイナミック海外流通研究視察ツアーの特徴

1. アメリカのショッピングセンター業態の種類と、生き残りを賭けた過去から現在のプロセスを棲み分けの観点より研究・視察します（アメリカの現状を知ることにより、わが国の近未来の流通業の方向性が見えてきます）。
2. アメリカの商業業態のフルコースを研究・視察し、各業態の実態と特徴を学びます（SC及び業態を今回視察中に40ヶ所以上見ることにより、業態を一挙にかつ体系づけて学ぶことができます）。
3. アメリカ流通事情に詳しいアメリカの流通関係者が講演及び視察する商業施設の解説をし、地に足のついた研究視察にします（アメリカのディベロッパー会社などの勉強会も予定しています）。
4. 各商業施設のポイントやアメリカの流通業の実態と課題の資料を作成し、また、バス移動中及びホテルで勉強会を行います（アメリカの流通・SC関連の資料集を作成し、できるだけ身になる研究視察にします）。
5. ダイナミック流アメリカ流通の過去及び現状の分析により、独自の解説・指導を行います（アメリカの現状から、わが国の近未来の流通業において勝ち残る手法を解説します）。現地セミナーを8回（成田でのセミナーを含む）予定しています。

研修会	場 所	日 時	講 師	内 容
第1回	成田空港	10月16日 [10:30~12:00]	六車 秀之 (ダイナミックマーケティング社 代表)	アメリカの流通・SCを学ぶポイントを解説
第2回		10月16日 [13:00~14:30]	六車 秀之 (ダイナミックマーケティング社 代表)	アメリカの流通・SCの動向と強さのメカニズムを解説
第3回	ロサンゼルス	10月17日 [8:00~9:30]	六車 秀之 (ダイナミックマーケティング社 代表)	アメリカの流通・SC・専門店の動向①
第4回	ロサンゼルス	10月18日 [8:00~9:30]	六車 秀之 (ダイナミックマーケティング社 代表)	アメリカの流通・SC・専門店の動向②
第5回	ロサンゼルス	10月19日 [8:00~9:30]	六車 秀之 (ダイナミックマーケティング社 代表)	アメリカの流通・SC・専門店の動向③
第6回	ラスベガス	10月20日 [8:00~9:30]	Cho Suzumura (GWest Architecture, LLC)	アメリカの流通・SC・専門店の動向④
第7回	ニューヨーク	10月22日 [8:00~9:30]	六車 秀之 (ダイナミックマーケティング社 代表)	アメリカの流通の動向から近未来の日本の流通・SCを学ぶ
第8回	ニューヨーク	10月23日 [8:00~9:30]	六車 秀之 (ダイナミックマーケティング社 代表)	六車のニューヨーク記念講演 (今回の視点の要約とテーマ化)

バス中研修会	随 時	バス移動中に、視察SCの概要と見どころを説明します。また、長時間の移動中には、「アメリカの流通の実態や業態の特性」を随時解説します。
アメリカでの業界実務家との研修会	3ヶ所を予定	<ul style="list-style-type: none"> ■ディベロッパーへのインタビュー SCマネージャーなどへのインタビュー (次のテーマを予定) ・SCマネージャーによるSC運営手法 ・リーシング担当によるテナントリーシング手法 ・マーケティング担当による販促手法 ・ネット時代における対策手法

アメリカ視察研究資料	出発1週間前にお送りします。	アメリカにおける流通業界・SCの現状、日米の流通比較、研究視察におけるポイント等を整理してお送りします。
------------	----------------	--

アメリカの流通を学ぶポイント

アメリカの流通は、視察のみでは「**記憶に残るノウハウ**」(見て学ぶ**ノウハウ**)の取得にはなりません

アメリカの流通の過去から現在さらに近未来までの**成功・失敗のメカニズムを解明**することが、アメリカという**流通のノウハウの宝庫**を見て学ぶこととなります

アメリカの流通を学ぶ**第1の理由**

なぜ成功し、なぜ失敗するのかのメカニズムをノウハウとして“見て学ぶ”ことです

アメリカの流通を学ぶ**第2の理由**

世界の最先端を歩むアメリカの流通の最新業態・専門店を知識として“見て学ぶ”ことです

それにより、日本の近未来の「**デッドモール化の中での次世代型SCのあり方**」「**モノ離れ後のSCのあり方**」「**流通成熟期のSCのあり方**」が見えてきます

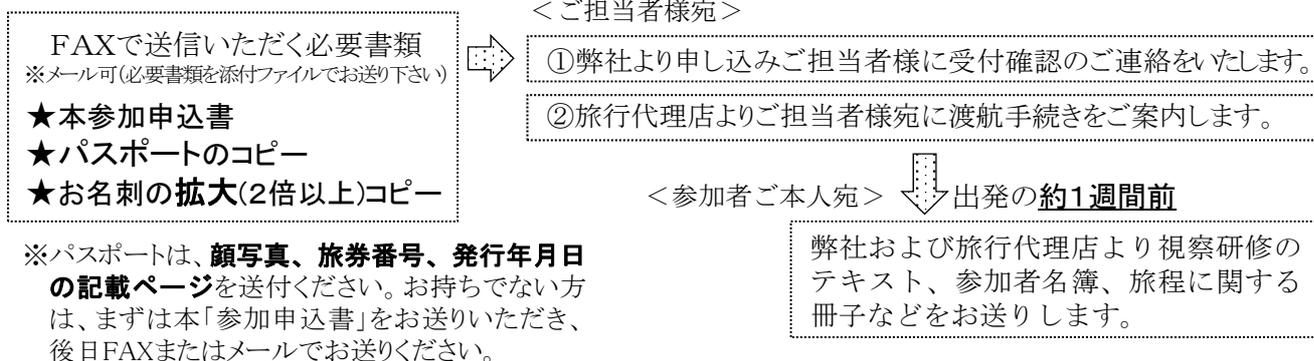
まさに、「**見て学ぶ**」を**コンセプト**とするアメリカ流通の視察・研究です

すなわち、日本の流通を熟知しかつ**アメリカの流通のメカニズムを最も知る**コンサルタントがコーディネートする視察・研究です

募 集 要 項

1	期 間	2019年10月16日(水)～10月25日(金)	
2	代 金	720,000円 (エコノミークラス、ホテル1室2名利用) ・1人部屋利用は追加料金が必要です。 ・ビジネスクラスは追加料金が必要です。 ※各地から成田空港への乗継便は旅行代理店で手配可能です(別途料金)。	
3	募集人員	30名	
4	締め切り	2019年8月30日(金)	
5	代 金 に 含まれるもの	①航空運賃(成田空港起点での国際線および米国内での国内線、エコノミークラス) ②宿泊料金(1室2名利用) ③食事(全朝食および夕食2回) ④視察(専用バスによる視察費用、訪問にかかる費用) ⑤セミナー・資料にかかる費用 ⑥添乗員費用	
6	代 金 に 含まれない もの(例示)	①燃油サーチャージ ②成田空港施設使用料、現地空港税、国際観光旅客税 等 ③ビジネスクラス 国際線往復 (追加料金につきましてはお問い合わせ下さい) ④一人部屋の追加料金 (追加料金につきましてはお問い合わせ下さい) ⑤手荷物超過料金 ⑥成田空港行き帰りの国内交通費 ⑦個人的性格の費用(飲食代、電話代、FAX代など) ⑧傷害、疾病に関する医療費 ⑨任意の海外旅行傷害保険料	
7	取 消 料	①旅行開始日の前日から起算し45日前から15日前に当たる日までに解除した場合	代金の30%
		②旅行開始日の前日から起算し14日前から4日前に当たる日までに解除した場合	代金の50%
		③旅行開始日の3日前から旅行当日及び開始後に解除または無連絡不参加の場合	代金の100%

【お申し込みの流れ】



〔ツアーに関するお問い合わせ〕

株式会社ダイナミックマーケティング社 南(みなみ)まで

〒531-0062 大阪市北区長柄中2-5-44

TEL 06-6353-6666 FAX 06-6356-1663

メールでのお申込は E-mail: dynamic-tour@dynamic-m.co.jp (ツアー専用E-mail)